

PART 3 訓練

求職者支援制度上における訓練の在り方に係る論点（議論のたたき台）

1. 訓練の目的

- 求職者支援制度において実施する訓練の目的について、どう考えるか。

2. 対象者の範囲

- 訓練の受講対象者の範囲を、どう考えるか。

【委員からの主な意見】

- ・ 雇用保険を受給できない者のうち、過去の就業状況、年齢層等にかんがみ、どのような属性の者を訓練の対象として考えるか。

- 訓練を実施する目的に照らして、個々の受講者のどのような点に着目するか。

3. 訓練の設定と実施機関の確保①訓練コースの設定

- どのような内容、性格及び水準の訓練を設定すべきか。

【委員からの主な意見】

- ・ 基金訓練においては、就職に直結する訓練のほか、公共職業訓練では実施していないような基礎力習得のための訓練も実施しており、このような訓練をどう考えるか。

②訓練の規模

- 訓練の規模について、どう考えるか。

③訓練実施機関の属性とその確保

- 各地域において、必要な内容及び規模の訓練を確保していくためには、どのような訓練実施機関を対象とすべきか。

- 訓練実施機関の確保、コース設定及び奨励の在り方について、どう考えるか。

【委員からの主な意見】

- ・ 地域によって教育訓練機関の設置状況に偏りが見られることについて、どのように考えるか。

4. 求職者の訓練への誘導と修了後の就職支援①対象となる求職者を適切に訓練へ誘導するための措置

- 対象求職者の選別及び適切な訓練への誘導方法について、どう考えるか。

②訓練受講者への就職支援の実施

- 訓練実施機関における訓練受講者への就職支援について、どう考えるか。

5. 訓練の評価と効果的な訓練の実施のための措置

- 訓練実施の効果について、どのような基準により評価すべきか。

- より効果的な訓練が実施されるためには、どのような方法があるか。

【委員からの主な意見】

- ・ 受講者が訓練を最後まで適切に受講するよう、動機付けが必要ではないか。
- ・ 現行の基金訓練の奨励金に相当する仕組みの在り方について、十分な検討が必要ではないか。

6. 訓練の事業運営体制の確保

- 求職者支援制度における訓練の事業運営体制について、どう考えるか。

7. その他

- 上記の論点に係る議論を踏まえ、現行の公共職業訓練との役割分担をどう考えるか。